

基本情報

平成23年度～

運営委員会名

鴻巣市放課後子ども教室推進事業
運営委員会

委員構成

実施校の校長代表者4名、
実施校のPTA代表者1名、
放課後子ども教室コーディネーター14名、
放課後児童クラブ代表者2名、
市関係者職員2名
合計 23名

対象学校数	16校
登録児童数	919人
平均開催日数	21日
ボランティア数	318人

地域学校協働活動推進員等数
()は内、学校運営協議会委員数

コーディネーター 16名 (16名)

大芦小学校放課後子ども教室

教室の概要

活動場所	教室、特別教室、体育館、校庭	登録児童数	45人
参加対象	全学年	平均参加児童数	1日あたり31人
連携団体	特になし		
プログラム例	ヒップホップダンス、百人一首、わくわく実験室、木工教室、ハンドベル、伝統文化		

特徴的な活動内容

- 【登録児童数】 全校児童の44%が登録しており、児童・保護者の期待が高いことを示している。
- 【プログラム】 開設している講座は、スポーツ系が2講座、文化系の国語関係が3講座、理科関係が3講座、音楽関係が1講座、図工関係が4講座、国際理解教育関係が1講座、伝統文化関係が4講座、娯楽関係が3講座で、合計21種類に及んでいる。
- 【広報活動】 「放課後子ども教室通信」を年間で8回程度発行することで、保護者と教室をつなぐ架け橋の役割を担うとともに、保護者の教室への理解・信頼を得る1つの役割を果たしている。
また、学期ごとにA4写真約50枚を廊下に掲示して活動の様子を周知している。
- 【サポーター】 多くが学区内や市内在住者で、地域との協働体制が確立している。サポーターの中には、工務店経営者、音楽教室講師、華道・茶道教室師範、ダンス教室講師、元教員など多くのプロフェッショナルも在籍する。



《伝統文化／季節の生け花》

活動の成果

- ・多様なサポーターによる講座で、バラエティーに富んだ学習や体験・交流活動を推進することができた。
- ・毎年3学期の保護者アンケートでは、放課後子ども教室への感謝や期待の声が多く寄せられた。このことは、広報活動に加えて、年度ごとの教室経営のスクラップ&ビルドに因るものである。

基本情報

平成31年度～

運営委員会名

上尾市社会教育委員会議

委員構成

- ・学識経験者 2名
- ・社会教育に精通する者 6名
- ・家庭教育に精通する者 3名
- ・小中学校長 2名

合計 13名

対象学校数	2校
登録児童数	57人
平均開催日数	28日
ボランティア数	16人

地域学校協働活動推進員等数
()は内、学校運営協議会委員数

コーディネーター 3名 (0名)

上尾市・大石公民館放課後子供教室教室

教室の概要

活動場所	上尾市立大石公民館	登録児童数	28人
参加対象	大石小学校全学年	平均参加児童数	13人
連携団体	公民館活動サークル、プロスポーツ団体等		
プログラム例	科学教室、将棋、スポーツ、工作、手芸等		

特徴的な活動内容

当市では、市内2つの小学校で放課後子供教室を実施しており、長期休暇や給食が無い日を除き、週1回（年間で約28日）開講している。

活動内容は、学年（低学年、高学年）で異なり、それぞれの学年に応じた講座や自由遊びの時間を設けている。特に、高学年教室（3年生～6年生）では、自由遊びの時間に比べて『特別講座』と称した、公民館活動サークルや外部団体等から講師を招き、普段学校や家庭ではできないような特別な体験活動を多く取り入れている。

両校とも主な活動場所が、小学校に隣接する公民館であることから、教室を「子どもの居場所」として、完結せず、「学びや地域交流の場」として、子どもをはじめとする参加者の全てが、有意義な時間を享受できていると感じる。

近年では、当市をホームタウンとして活動している、女子プロバレーボールチーム『埼玉上尾メディックス』が講師を務めるバレーボール教室などの人気講座も多くあり、参加児童にも好評を得ている。



人気講座のバレーボール教室

活動の成果

参加児童は、異性や学年が異なる子ども、サポーターとして活動を支える地域の大人関係を築くことで、学校で新たな楽しみを見出すことができている。また、保護者からは、家庭でテレビゲームや動画を視聴する時間が減り、「家庭内での会話ツールが増えた」との声も多くいただいている。

基本情報

平成19年度～

運営委員会名

草加市放課後こども教室推進事業
運営委員会

委員構成

放課後こども教室代表者3名、
放課後児童クラブ代表者2名、
社会教育関係代表者1名、
児童福祉関係代表者1名、
草加市PTA連合会代表者1名、
地域住民代表者3名、
学校関係代表者1名、
市職員2名

計14名

対象学校数	21校
登録児童数	2,266人
平均開催日数	31日
ボランティア数	222人

地域学校協働活動推進員等数

コーディネーター 12名(2名)

西町小放課後こども教室「かがやけ西町！」

教室の概要

活動場所	生活科室、図書室、学習室、校庭(体育館)	登録児童数	107人
参加対象	1～6学年	平均参加児童数	67人
連携団体	—		
プログラム例	宿題・ボール遊び・昔遊び・お絵かき・ボードゲーム等		

特徴的な活動内容

本教室は、毎週水曜日の放課後に、小学校等の施設を使用し、こどもたちの安全・安心な居場所を設け、こどもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するために行っている。
教室活動中のプログラム等は設けず、宿題の部屋、あそびの部屋、校庭(体育館)からこどもたちが自由を選択して活動している。
また、放課後児童クラブとは、校庭を合同で使用している。



[宿題の部屋]



[遊びの部屋]



[校庭あそび]

活動の成果

放課後児童クラブとの打合せにより、校庭で遊ぶ時のルールや困ったときの相談先が確認できている。
学校とも年度初めに打合せを行い、必要に応じて情報交換をすることで、スタッフは安全に配慮しながら、校庭で放課後こども教室、放課後児童クラブ、自宅から遊びにくる子が混ざって遊べる環境を作っている。

基本情報

平成19年度～

運営委員会名

蕨市放課後子ども教室運営委員会

委員構成

開設校の校長の代表者1名、各校区ごとの実行委員会の代表者7名、民生・児童委員の代表者1名、スポーツ又は文化関係団体の代表者2名、留守家庭児童指導室関係者1名、社会教育委員の代表者1名、PTAの代表者1名（14人）

対象学校数	7校
登録児童数	510人
平均開催日数	24日
ボランティア数	7人

地域学校協働活動推進員等数
()は内、学校運営協議会委員数

コーディネーター 7名（1名）

蕨市立南小学校区放課後子ども教室

教室の概要

活動場所	特別活動室、図工室、体育館、校庭	登録児童数	112人
参加対象	1～6学年	平均参加児童数	50人
連携団体	南小学校、学童室		
プログラム例	宿題、各種工作教室、自由遊び等		

特徴的な活動内容

本教室では、子供たちの安心・安全な居場所づくりと交流活動や様々な体験・学習活動を進めている。

右の写真はポッチャを行った際の写真で、学年問わずチームを組み試合をおこない、異学年交流を図っている。

また、年度当初に放課後子ども教室の募集・登録を行っているが、放課後子ども教室に登録していない児童が活動を見て、自分も参加したいと羨ましがり、その状況が反響を呼び、年度途中で追加登録する児童が毎年いる。



活動の成果

宿題、各種工作教室、自由遊び等を通して普段交流のない異学年との交流を行う機会を提供することが出来た。子どもの居場所・経験の場の機能を果たすことができた。

基本情報

平成19年度～

運営委員会名

放課後子ども教室運営委員会

委員構成

学校関係者（小学校長）1名
 P T A関係者2名
 社会教育関係者2名
 地域住民（放課後子ども教室
 コーディネーター）2名
 行政関係者（教育政策室担当
 課長）1名

計8名

対象学校数	12校
登録児童数	644人
平均開催日数	19日
ボランティア数	のべ229人

地域学校協働活動推進員等数
 ()は内、学校運営協議会委員数

コーディネーター 12名 (5名)

戸田市・戸田第一小学校放課後子ども教室

教室の概要

活動場所	アリーナ（体育館）・図書室	登録児童数	118人
参加対象	全学年（※1～2年生、3～6年生 に開催日を分けて活動）	平均参加児童数	39人
連携団体	特になし		
プログラム例	宿題、昔遊び、工作、ゲーム（カードゲーム、ボードゲーム）、身体使い遊び（縄跳び、ドッジボール、バスケットボール、鬼ごっこ）、読み聞かせ		

特徴的な活動内容

放課後子ども教室にて、宿題をする時間を設けており、スタッフは宿題の見守り（アドバイス）を行っている。アリーナ及び図書室内に、昔遊び、ゲーム、工作及び身体使い遊びを行うブースを設けており、宿題の終わった児童から、興味を持ったブースに移動し、各々が活動を行っている。

特に工作については、七夕飾りやハロウィン、クリスマスカードの作成など、季節に応じたプログラムを検討し、児童が飽きないような取り組みを実施することで、児童が興味を持って積極的に参加している。

また、身体使い遊びについては、開催（集合）場所がアリーナであるため移動の必要がなく、効果的かつ効率的な形で参加児童の体づくり等に寄与している。



工作（七夕飾りづくり）



身体使い遊び（大縄跳び）

活動の成果

活動内容について、保護者からも好評であり、登録児童数が大幅に増加している。（R6：82人→R7：118人）

基本情報

令和7年度～

運営委員会名
放課後子供教室推進事業
実行委員会

委員構成

プログラム提供型放課後子供教室実施校及び居場所提供型放課後子供教室実施校の学校長、青少年育成市民会議、保護者代表連絡会、生涯学習・スポーツ課計11人

対象学校数	2校
登録児童数	357人
平均開催日数	235日
ボランティア数	0人

地域学校協働活動推進員等数
()は内、学校運営協議会委員数

コーディネーター 2名(0名)

居場所提供型放課後子供教室

教室の概要

活動場所	教室、体育館、校庭	登録児童数	357人
参加対象	小学1年～6年生	平均参加児童数	60人
連携団体	特定非営利活動法人（運営委託事業者）		
プログラム例	毎月、工作や読み聞かせの日を設定。 長期休暇期間中（夏休み・冬休み）は、ゲーム大会を実施。		

特徴的な活動内容

【事業開始】令和7年度。
 【開室日時】平日の放課後から17時。長期休暇期間は8時30分から17時（冬季期間は16時30分）。
 【実施校】小学校2校
 【利用申込】電子申請
 【利用料】年間2,000円/人 ※傷害保険料及びアプリケーション利用料
 【入退室管理】あり
 【過ごし方】事前に利用予約をした児童が校舎内にある放課後子供教室、校庭及び体育館で思い思いの時間を過ごす。
 【その他】運営委託事業者は、校内にある放課後児童クラブとの交流事業を企画するほか、夏祭りイベントとして輪投げや大縄跳び、うちわ作りなどを実施した。

活動の成果

大人の見守りのもと、子どもたちが自由に安心・安全に過ごすことを事業方針としており、子どもたちは思い思いにのびのびと過ごしている。保護者からは、別の学年の児童と遊ぶことが増えたことや友達が増えたなど、好評を得ている。

基本情報

平成27年度～

運営委員会名

放課後子ども教室運営委員会

委員構成

行政関係者、学校関係者、学童保育クラブ関係者、社会教育関係者、児童福祉関係者、PTA関係者、スポーツ・レクリエーション団体関係者、コミュニティ団体関係者、ボランティア団体関係者、小学校区内の地域住民及び委員会が特に必要と認めた者など
約10名

対象学校数	8校
登録児童数	3,059人
平均開催日数	232日
ボランティア数	30人

地域学校協働活動推進員等数
()は内、学校運営協議会委員数

コーディネーター 9名 (0名)

放課後志木っ子タイム (宗岡第四小学校)

教室の概要

活動場所	教室、体育館、校庭等	登録児童数	512人
参加対象	1～6学年	平均参加児童数	55人
連携団体	志木市社会福祉協議会		
プログラム例	郷土文化体験、マステアート、ピラティス、モルック、ボッチャ等		

特徴的な活動内容

- (1) 対象者
本教室は、全児童を対象として放課後の居場所づくりを行い、次世代を担う子どもたちの健やかな成長と人間形成を目指している。
- (2) 活動時間
通常期間の平日は放課後から午後の5時まで、三季休業日中の平日は午前8時から午後5時まで実施している。学童保育クラブとは校内交流型で運営を行っており、学童保育の児童も放課後子ども教室で行われる体験プログラムに参加できる。
- (3) 運用面
また、下校後すぐに宿題に取り組み、低学年から自主学習の習慣づけを行い、保護者から好評を得ている。三季休業日中は弁当の外注を保護者がWEB上で行い、職員が弁当を受け取って児童に手渡す取り組みを行っている。



郷土文化体験



マステアート



ピラティス

活動の成果

子供の居場所づくりとして、登録者数等を見ても一定の成果が出ていると考えている。保護者からは、多彩なプログラムを体験でき、地域の伝統行事などを教えてもらい、ありがたいという声もあり、一定の成果が出ていると考えている。

基本情報

平成19年度～

運営委員会名

一体型放課後対策事業運営委員会

委員構成

各小学校実行委員、和光市小学校校長会代表者、和光市小学校教頭会代表者、学童クラブ代表者、コーディネーター代表者、行政職員等

18名

対象学校数	9校
登録児童数	2134人
平均開催日数	233日
ボランティア数	159人

地域学校協働活動推進員等数
()は内、学校運営協議会委員数

地域学校協働活動推進員2名(2名)
コーディネーター9名(0名)

和光市・第五小わこうっこクラブ(放課後子供教室)

教室の概要

活動場所	一体型専用施設・教室・校庭	登録児童数	264人
参加対象	全学年	平均参加児童数	70人
連携団体	NPO法人、近隣農園、地区社会福祉協議会、市体育協会 等		
プログラム例	ボール遊び、マジック教室、昔遊び、科学教室、工作教室 等		

特徴的な活動内容

和光市では、令和3年4月より「わこうっこクラブ」の運営に指定管理者制度を導入している。

(1)独立した一体型専用施設

当教室は、独立した専用施設を有しており、長期休業中だけでなく、学校閉庁日や振替休業日にも開室が可能である。また、同一施設内には「さつきのこ学童クラブ」も併設されているため、学童クラブとの一体的な運営が行える。

(2)学童クラブとの連携

「さつきのこ学童クラブ」と同じ施設を利用しているため、子どもたちは日常的に自由に行き来できる環境が整っている。日頃の交流に加えて、合同の夏まつりや運動会など、多くのイベントを共同で実施している。さらに、学童クラブのイベントに参加してもらう機会や、子ども教室に学童クラブの子どもたちが参加する場面もあり、双方のコミュニケーションが深まっている。

(3)多様なプログラム

理科実験教室、昔あそびやキンボールなどの多様なプログラムを展開している。また、和光市在住の講師が多く、地域の方との交流を深めるきっかけとなっている。



子ども教室 キンボール

活動の成果

月に2回、学童クラブ在所児童も参加できるイベント型事業として、スポーツや文化・芸術にふれる活動を実施した。モルックや松ぼっくりツリーづくりなど、新規プログラムにも取り組み、内容の充実を図った。また、施設を共有する「さつきのこ学童クラブ」との日常的な交流に加え、学校敷地内にある南学童クラブとの交流や、隣接する児童館を活用した活動場所の拡大にも取り組み、子どもたちの交流の幅を広げてきた。

基本情報

平成24年度～

運営委員会名

新座市子どもの放課後居場所
づくり事業運営委員会

委員構成

教育長、教育総務部長、小学校長、町内会連合会理事、民生・児童委員協議会理事、社会教育委員、放課後児童保育室支援員代表者、コーディネーター代表者、関係課長、事業担当課長、受託事業者代表者など 15名

対象学校数	17校
登録児童数	3,369人
平均開催日数	205日
ボランティア数	230人

地域学校協働活動推進員等数
()は内、学校運営協議会委員数

コーディネーター 52名 (0名)

片山ココフレンド

教室の概要

活動場所	専用教室・体育館・校庭・図書室	登録児童数	187人
参加対象	全学年	平均参加児童数	19人
連携団体	ボランティア団体「おはなしグループ ほたる」、放課後児童保育室		
プログラム例	工作（ミサンガ作り、スタンドグラス作り、風鈴作り）、折り紙 走り方教室、大縄跳びチャレンジ、ボール遊び 学童との合同プログラム（避難訓練、音楽鑑賞会、ダンス教室、読み聞かせの会）		

特徴的な活動内容

本教室はこどもたちの居場所づくりを目的として、主に課業日の放課後や夏休みなどの長期休業期間に片山小学校の施設を利用させていただきながら活動している。来室後は学習の時間として宿題などに取り組み、その後の遊びの時間では体育館でバレーボールやバスケットボール、また大縄跳びやドッジボールなどを1年生から6年生まで学年をまたいで一緒に遊んでいる。その際には児童同士でルールを決め、上級生が下級生の面倒をみながら取り組む姿が見える。教室の活動では毛糸を使ったミサンガ作りやビニールとアルミホイルを利用したスタンドグラス作り、塗り絵、写し絵などが人気である。また図書室を利用してもらい静かに読書をする時間も設けている。

また放課後児童保育室と合同で、避難訓練や音楽鑑賞、ボランティア団体による読み聞かせの会などを年に数回開催しており、いずれも児童に好評である。



イベント：走り方教室

活動の成果

保護者からは「他の学年の友達ができた。」「家や学校ではできない遊びができて喜んでいる。」「宿題を終わらせて来るので帰宅後の時間を好きなことに使える。」「こどもにとって楽しい、大事な居場所になっている。」などの評価を受けている。

基本情報

平成24年度～

運営委員会名

桶川市放課後子供教室運営委員会

委員構成

小・中学校校長会
 実施校PTA役員
 区長会
 実施校コーディネーター
 社会教育委員
 関係教育委員会課長

計20名

対象学校数 7校

登録児童数 296人

平均開催日数 125日

ボランティア数 121人

地域学校協働活動推進員等数
 ()は内、学校運営協議会委員数

コーディネーター 19名 (0名)

桶川小学校あいあい広場

教室の概要

活動場所	教室、体育館、校庭 など	登録児童数	63人
参加対象	1～6学年	平均参加児童数	20人
連携団体	地域サークル		
プログラム例	ボール投げ、ギター演奏体験、手品体験、読み聞かせ 等		

特徴的な活動内容

桶川小学校あいあい広場では、地域人材の特性を生かした体験活動として、フラダンス及びウクレレの体験会を実施した。

教室スタッフの中に、地域でフラダンスやウクレレの活動を行っている者がおり、当該スタッフが講師となり、子供たちに直接指導を行った。

おおむね20名程度の児童が参加し、初めて楽器やダンスに触れる児童も多かったことから、基本的なリズムの取り方や簡単な演奏、振り付けを中心に、楽しみながら参加できる内容とした。

また、日頃から教室運営に関わっているスタッフが講師を務めることで、子供たちが安心して参加できる雰囲気づくりをした。

地域で活動している大人が身近な存在として関わることにより、子供たちが地域に親しみを持つきっかけとなった。



ウクレレ・フラダンスを楽しむ児童

活動の成果

フラダンス及びウクレレの体験を通じて、子供たちは音楽や表現活動に親しみ、上級生が下級生を教えたり支えたりするなど、子供同士の関わりが自然に見られた。また、地域人材が講師となる取組については保護者からもおおむね好評であり、放課後子供教室が安心して多様な体験ができる場として定着している。

基本情報

平成19年度～

運営委員会名

放課後子ども教室運営委員会

委員構成

放課後子ども教室代表7名、
放課後児童クラブ関係者1名、
校長会代表2名、PTA代表
1名、コミュニティ協議会代
表1名、民生委員・児童委員
代表1名、学校教育課長、子
育て支援課長

計15名

対象学校数	7校
登録児童数	253人
平均開催日数	84日
ボランティア数	123人

地域学校協働活動推進員等数
()は内、学校運営協議会委員数

コーディネーター 18名 (4名)

中丸小放課後子ども教室

教室の概要

活動場所	教室、体育館、多目的ホール、校庭	登録児童数	25人
参加対象	1～6学年	平均参加児童数	13人
連携団体	地域サークル活動団体		
プログラム例	学びの時間（宿題や自主学习）、ふれあい活動（運動、工作、昔遊び、折り紙）		

特徴的な活動内容

(1) 「学びの時間」と「ふれあいの時間」

週3日(月・火・水)開室。前半は宿題を中心とした「学びの時間」、休み時間を挟んで、後半は地域の方等を中心に様々な体験活動を行う「ふれあいの時間」を実施。休み時間中にも洗濯ばさみやペットボトルキャップを使って遊んだり、日本地図パズルを行ったりと楽しく過ごす児童の姿が目に残る。

(2) バラエティに富んだプログラム

「ふれあいの時間」では運動遊び(バドミントン、ドッジボール)、昔遊び(コマ、けん玉、あやとり、お手玉)、歌声タイム、工作(紙飛行機、輪ゴム鉄砲、スタンドうちわ、トートバッグ、注連縄飾り)、英語遊び(かるた、アルファベット探しゲーム)、折り紙遊び(あじさいとカタツムリ、かぼちゃ・おばけ)、郷土かるた等季節に合わせたプログラムを実施。1月には水仙や梅などを花材とし生け花を行った。小さな瓶に思い思いの花を挿し、こだわりの作品を仕上げた。



工夫しながら丁寧に作品を仕上げます

(3) 放課後児童クラブとの連携

年1回放課後児童クラブとの交流活動を実施。今年度は1・2年生と3年生以上に分かれてドッジボールによる交流会を行った。

活動の成果

- ・スタッフの協力により、年間計画に沿って、子ども達に放課後の安全・安心な居場所を提供することができた。
- ・保護者からは、「学校生活とも習い事とも違う体験ができて、とても良かった」「放課後子ども教室の日を楽しみにするようになり、どんなことを行ったのかをニコニコと話してくれている」等好評を得ている。

基本情報

平成15年度～

運営委員会名

ほうかごところ運営委員会

委員構成

ほうかごところ(所沢小)
 運営委員長：1名 副委員長：1名
 スタッフリーダー：1名
 校長：1名 教頭：2名 主幹教諭：1名
 学校開放委員長：1名 PTA会長：1名
 前PTA会長：1名 児童主任委員：2名
 後援会会長：1名 前後援会会長：1名
 後援会幹事：1名 保護者：2名
 17名

対象学校数	13校
登録児童数	2865人
平均開催日数	183日
ボランティア数	42人

地域学校協働活動推進員等数
 ()は内、学校運営協議会委員数

地域学校協働活動推進員13名(13名)

ほうかごところ(所沢小学校)

教室の概要

活動場所	校庭・体育館・体育館2階	登録児童数	457人
参加対象	全学年	平均参加児童数	52人
連携団体	放課後児童クラブ		
プログラム例	鯉のぼり、七夕飾り、ハロウィン用飾り、クリスマスツリー制作		

特徴的な活動内容

本教室では、安全で安心な子供の居場所づくりを目的として、自由に遊ぶことを基本とすることで、子供たちはそれぞれの場所で、遊びを見い出しながら過ごしている。

(1) 児童クラブとの連携

児童クラブ(3か所)の間では、共通の遊び場所(校庭)での子供たちの様子をそれぞれが見守り、ほうかごところ・児童クラブの枠にとらわれず、気づいたことを報告しあっている。

(2) スタッフ間の情報共有

毎日ミーティングを行いスタッフ間で情報共有している。

(3) 保護者への情報提供

子供たちの安全安心な活動のために、学校・地域・PTA等で組織された運営委員会を開催するほか、保護者会の開催、情報発信のための情報誌「ほうかごところ」を毎月発行している。



【体育館2階で宿題や自由な遊び】

活動の成果

異年齢の友達との遊びをとおして、子供たちがコミュニケーションのとり方を自然に学び、自分たちで遊びを工夫したり、問題を解決したりするなど、自主性が育ってきている。

学年関係なく上級生が下級生と一緒に遊ぶ様子も見られる。教室開設から20年以上がたち、子供たちがしっかりとつながった関係を築くことができている。

基本情報

令和元年度～

運営委員会名

放課後子ども教室運営委員会

委員構成

実施校校長、放課後児童クラブ
代表者、実施校PTA代表者、
社会教育関係者、コーディネー
ター、教育活動指導員、その他
教育長が特に必要と認める者
各校8名
計16名

対象学校数 2校

登録児童数 81人

平均開催日数 25日

ボランティア数 8人

地域学校協働活動推進員等数
()は内、学校運営協議会委員数

コーディネーター 2名(0名)

飯能市・おくむさしわくわくルーム

教室の概要

活動場所	体育館、教室、校庭	登録児童数	60人
参加対象	全学年	平均参加児童数	44人
連携団体	ソニー・ミュージックレーベルズ、名栗げんきプラザ他		
プログラム例	ミュージカルワークショップ、ダンス、英語遊び、ホッケー、コーディネーショントレーニング、アドベンチャーラリー、工作等		

特徴的な活動内容

本教室は小規模校の魅力づくりの一環として位置付けられている。

ソニー・ミュージックレーベルズとの連携では、プロの指導によるミュージカルワークショップやダンス体験のほか、プログラミングの体験も実施している。

また、英語、コーディネーショントレーニング、アドベンチャーラリー等の専門的な知識を持つ市内在住の方々による体験や、スポーツ課と連携して本市の市民スポーツであるホッケーを楽しむ活動などを行っている。



〔ロボットダンス教室〕



〔ホッケーを楽しもう〕

活動の成果

保護者からは、「家庭や学校の授業だけでは体験できない内容を幅広く企画してくださり感謝している」「普段触れることのない体験ができていて、とても有意義に感じている」などの好意的な意見をいただいている。

基本情報

平成23年度～

運営委員会名

東松山市放課後子ども教室連絡会議

委員構成

放課後子ども教室コーディネーター11名、小学校長11名、PTA会長11名、放課後児童クラブ代表、教育委員会（こども家庭部部長、こども家庭部次長、こども支援課長、保育課長、学校教育課長）

計42名

対象学校数 11校

登録児童数 219人

平均開催日数 52日

ボランティア数 80人

地域学校協働活動推進員等数
()は内、学校運営協議会委員数

コーディネーター 11名 (0名)

東松山市・高坂小学校放課後子ども教室
にこにこドラゴン・たかさか

教室の概要

活動場所	教室・校庭等	登録児童数	31人
参加対象	1～3年生	平均参加児童数	13人
連携団体	外部講師（市に登録された方、グループ）		
プログラム例	宿題、実験的な遊び(色の変化・水中シャボン玉)、外部講師による教室、工作、季節行事(ハロウィン、七夕、クリスマス、ひな祭り)		

特徴的な活動内容

本教室は、令和3年度に設置され今年度も5月から水・金曜日に実施している。参加のこどもたちが異学年であるという特徴を生かすとともに、こどもたちの実態を理解し活動内容を決めている。

前半は宿題を中心とした学習を行い、後半は工作や室内ゲーム等さまざまな活動に取り組んでいる。活動中に配慮していることは、その活動の持つ本来の楽しさや特性を味わえるようにしていることである。そのことにより、こどもたちは意欲的に取り組み、充実感を味わいながらにこにこ笑顔で過ごせるよう運営している。



活動の成果

保護者からは「宿題を済ませてくるので家で時間の余裕ができる。」「家庭ではできない活動や体験ができる。」「他学年のこどもたちと交流ができ友だちも増えた。」など好評を得ている。

基本情報

平成16年度～

運営委員会名

狭山市地域子ども教室連絡会
T i eに委託

委員構成

各教室の代表が理事となり、
理事会を組織し、狭山市地域
子ども教室連絡会T i eを運
営している。

代表理事1名、副代表理事2
名、理事9名、監事2名の他、
相談役2名、事務員3名が運
営委員会を組織。

コーディネーター2名

計21名

対象学校数	14校
登録児童数	1,158人
平均開催日数	月に1日
ボランティア数	159人

地域学校協働活動推進員等数
()は内、学校運営協議会委員数

地域学校協働活動推進員3名 (3名)
コーディネーター 2名 (0名)

東っ子放課後教室

教室の概要

活動場所	校庭・体育館	登録児童数	192人
参加対象	小学生1年生～6年生	平均参加児童数	85人
連携団体	保護者ボランティア・地域ボランティア ・PTA		
プログラム例	折り紙工作・プラ板・バドミントン・巨大シャボン玉遊び等		

特徴的な活動内容

本教室は月に1回、放課後に子どもたちが安心して過ごせる場所を確保し、さまざまな体験・交流活動の機会を提供することを目的として活動している。

前半は宿題を中心に学習の時間、後半は遊びの時間として基本的には自由に過ごしてもらっているが、プラ板を使ったオリジナルのキーホルダー作りや巨大シャボン玉遊びなど、子どもたちが飽きないような取り組みも実施している。

令和7年度は通常の教室とは別に体験教室として地域の方々のご協力のもと、自然を活用した「田んぼで泥んこ遊び体験」や、身近なものを使った工作教室として「松ぼっくりでミニクリスマスツリー作り」などのイベントも行った。

また、本教室の活動を広く知ってもらい、協力者(スタッフ・ボランティア)の確保へ繋げるために、活動の様子をFacebookで保護者の方や地域の方々へ情報発信している。



田んぼで泥んこ遊び体験



ミニクリスマスツリー作り

活動の成果

保護者の方から「子どもが参加を楽しみにしている」「宿題を学校で済ませてくれて助かる」などの意見をいただいている。また、体験教室では、日常では経験することができない遊びを体験してもらい、自然を活用し身体を使った遊びの楽しさを子どもたちに再認識してもらうことができた。

基本情報

平成30年度～

運営委員会名

入間市放課後子ども教室事業
運営協議会

委員構成

- ・入間市立小学校の児童の保護者代表2名
- ・地域住民により組織する団体の代表者3名
- ・学校教育及び社会教育の関係者4名
- ・市内在住者から公募で3名
- ・知識経験者3名

計15名

対象学校数	16校
登録児童数	715人
平均開催日数	24日
ボランティア数	38人

地域学校協働活動推進員等数
()は内、学校運営協議会委員数

コーディネーター 9名 (0名)

入間市・わく☆ドキッ！とよおか

教室の概要

活動場所	豊岡小会議室	登録児童数	61人
参加対象	市内在住小学生	平均参加児童数	14人
連携団体	NPO法人、入間市ティーボール連盟、入間市華道連盟 他		
プログラム例	工作、運動遊び、昔遊び、華道、音楽、季節のイベント他		

特徴的な活動内容

(1) 工作活動を中心とした体験型プログラムの実施

当教室では、「製作したものを使って遊んで楽しむ」ことを目的とした工作活動を中心にプログラムを構成している。皿回しや羽子板など、完成後すぐに遊べる内容を取り入れることで、短時間でも達成感を得られる工夫を行っている。

また、作品は家庭に持ち帰ることができ、教室外でも遊びや練習を継続できる点が特徴である。

(2) 学年を越えた交流を促す活動

複数人で協力して行う競技や遊びを取り入れ、上級生が低学年を自然にサポートする場面が多く見られる。活動を通して、思いやりや協調性を育むとともに、学年間の交流が深まる環境づくりを行っている。

(3) 廃材を活用した創作活動

家庭で使用後に不要となった紙コップや段ボールなどの廃材を活用した工作を積極的に実施している。環境への配慮とともに、材料の使い方を工夫することで、子どもたちの自由な発想や創造力を引き出す活動となっている。



【紙コップ・カプラ遊び】

活動の成果

- ・製作活動を通して、子どもたちが主体的に取り組む姿勢が見られるようになってきている。
- ・上級生が低学年を気遣いながら行動する場面が増え、学年間の交流が深まっている。
- ・家庭に持ち帰れる工作を取り入れることで、教室外でも活動への関心が継続している。

基本情報

平成17年度～

運営委員会名

富士見市地域子ども教室連絡協議会

委員構成

各教室企画運営委員 25名
 校長会2名
 放課後児童クラブ職員1名
 児童館職員1名
 公民館職員4名
 交流センター職員1名
 など 34名

対象学校数	10校
登録児童数	4,402人
平均開催日数	13日
ボランティア数	74人

地域学校協働活動推進員等数
 ()は内、学校運営協議会委員数

コーディネーター 11名 (0名)

水谷子ども広場

教室の概要

活動場所	水谷公民館	登録児童数	912人
参加対象	主に水谷小学校児童	平均参加児童数	45人
連携団体	水谷公民館、公民館活動サークル		
プログラム例	ベーゴマ、折り紙、茶道体験、押し花、絵手紙、工作、自由遊びなど		

特徴的な活動内容

- (1) 公民館活動サークル等の地域の方との連携
 主に活動場所である水谷公民館でサークル活動されている地域の方々のご協力により、茶道・押し花・絵手紙等の日頃触れ合う機会の少ない体験や、地域の方と交流ができる貴重な機会となっている。
- (2) 多世代交流の機会
 スタッフの高齢化が懸念事項であるが、当初からのスタッフの娘や社会人になった孫が運営協力をしており、高齢者から若い世代まで多世代の交流機会となっている。
- (3) 新たなプログラムの創出
 学校規模の増加により参加者数が急増しており、各ブースでの対応が難しくなってしまう恐れがあるため、運営スタッフが中心となり、新たな体験・工作ブースを設け、人数の分散を図った。



押し花体験の様子

活動の成果

対象としている水谷小学校の児童数が急増しており、参加者も以前の倍以上であり、地域の子どもたちにとっての大切な居場所となっている。参加している子どもたちや保護者からの活動日を心待ちにしている声も多く、活動している地域のスタッフにとってのやりがいにもつながっており、多世代交流の貴重な機会の一つとなっている。

基本情報

平成26年度～

運営委員会名

鶴ヶ島市放課後子ども教室
運営委員会

委員構成

放課後子ども教室代表、放
課後児童クラブ関係者、校
長代表、PTA代表、こど
も・地域に関する活動関係
者

計10名

対象学校数

8校

登録児童数

1,236人

平均開催日数

54日

ボランティア数

152人

地域学校協働活動推進員等数
()は内、学校運営協議会委員数

コーディネーター 23名 (0名)

放課後のびのび算数教室

教室の概要

活動場所	市内全小学校（8校）	登録児童数	371人
参加対象	1年生～6年生	平均参加児童数	12人
連携団体	—		
プログラム例	算数の基礎学習		

特徴的な活動内容

年度当初に復習プリントを行い、個々のつまづきのポイントを確認した上でプリントやタブレットによる学習を始めている。また、授業の進度に合わせるために、担任と学力向上支援員との間で連絡ノートを活用している。課題としては、参加しやすい環境づくりとスタッフの確保が挙げられる。今後は、安全への配慮に努めるとともに、より効果的な指導を行えるよう、プリント作りを検討していきたいと考えている。



〔プリントを活用した学習〕



〔特別教室の活用〕

活動の成果

子どもたちからは、「わかりやすく教えてもらって算数が好きになった」「また参加したい」などの感想があった。スタッフからは、「子供たちの成長を見ることが楽しみ」「生きがいを感じながら地域に貢献できる」などの声が寄せられている。

基本情報

平成18年度～

運営委員会名

輝多っ子アフターすく～る実行委員会

委員構成

高萩北地区スポーツ協会、高萩北スポーツ少年団、学校運営協議会委員、高萩北地区地元有志PAT会員、民生委員・児童委員協議会委員、
計35名

対象学校数 1校

登録児童数 466人

平均開催日数 8日

ボランティア数 24人

地域学校協働活動推進員等数
()は内、学校運営協議会委員数

地域学校協働推進員1名(1名)
コーディネーター 3名(0名)

輝多っ子アフターすく～る(放課後子ども教室)

教室の概要

活動場所	体育館、校庭	登録児童数	39人
参加対象	1～6学年	平均参加児童数	39人
連携団体	輝多っ子アフターすく～る実行委員会、地域学校協働本部健全育成部 他		
プログラム例	自由あそび、ポッチャ、お楽しみ会、凧作り・凧あげ、昔遊び		

特徴的な活動内容

輝多っ子アフターすく～るでは、子どもたちが、地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するため、子どもたちの安全・安心な活動拠点としての遊びの場を提供している。

高萩北地区では、地域学校協働本部、特に高萩北地区スポーツ協会、高萩北スポーツ少年団を中心に皆が連携し教室運営をしている。

また、経験豊かなコーディネーターと役員、事務局で綿密な打合せを行い、多様なプログラムを実施している。

児童数が減少していくなか、今後さらに参加者を増やせるよう来年度に向けて検討を行っている。



(七夕飾り作成風景)

活動の成果

コロナ禍の事業休止を経て、昨年度より事業を再開した。異学年の児童たちの交流や家庭でのコミュニケーション増加や未体験の遊びを経験することができ、地域の方々の見守りのため安心できるなど、児童から保護者へ昨年度の教室内容が口コミで広がり、今年度は昨年度よりも2倍の参加者が集まっている。

基本情報

平成21年度～

運営委員会名

ふじみ野市放課後子ども教室
運営委員会

委員構成

小学校長1名、PTA連合会1名、放課後児童クラブ2名、自治組織連合会2名、民生委員・児童委員協議会1名、放課後子ども教室指導員1名、学識経験者1名、ふじみ野市職員2名
計11名

対象学校数 12校

登録児童数 472人

平均開催日数 31日

ボランティア数 43人

地域学校協働活動推進員等数
()は内、学校運営協議会委員数

地域学校協働推進員2名(2名)

コーディネーター6名(3名)

三角小学校放課後子ども教室

教室の概要

活動場所	教室、校庭、体育館	登録児童数	33人
参加対象	1～6学年	平均参加児童数	29人
連携団体	文京学院大学		
プログラム例	宿題、外遊び、体育館遊び、季節の工作、放課後子ども教室祭り		

特徴的な活動内容

本教室は、放課後の子どもたちの安心安全な居場所づくりと、指導員として参加する地域住民との交流の機会の提供を目的として、週に1回活動を行っている。

(1) 多様なプログラム

宿題や自由遊びの見守りの他に、指導員が企画するオリジナルの季節の工作や子どもたちとともに作りあげお祭りなど、多様なプログラムを実施している。他にも、市内で活動するサークルや団体等を講師として招き、人形劇鑑賞や盆踊り、スポーツ鬼ごっこなどの体験を行った。

(2) 市内大学との連携

市内の文京学院大学の学生が活動に参加し、実際の活動の企画・運営を行うイベントを行った。経験豊富な地域の指導員と、新たな視点を持った大学生が連携することで、児童にとって日常において経験できない幅広い活動を提供することができた。

(3) 放課後児童クラブとの連携

定期的に放課後児童クラブとの交流も行っている。交流を通して全ての児童が安心安全に、様々な体験をすることができる放課後の居場所づくりを進めている。また、放課後子ども教室の指導員と放課後児童クラブの支援員の交流の機会にもなっており、各々の活動での経験を共有する機会となっている。



【放課後子ども教室祭りの様子】

活動の成果

活動を通して、子どもたちに放課後の居場所だけでなく、学校や家庭でできないような幅広い体験の機会を提供し、豊かな心を育む一助となっている。参加する指導員についても、これまでの経験や知恵を活かして子どもたちに還元することで地域学校協働活動の推進に繋がっている。

基本情報

令和7年度～

運営委員会名

三芳町放課後子ども教室運営委員会

委員構成

各教室コーディネーター、
連合PTA、学校運営協議会、
校長会、学校教育課、こども支援課（学童）

計10名

対象学校数	5校
登録児童数	106人
平均開催日数	18日
ボランティア数	52人

地域学校協働活動推進員等数
 ()は内、学校運営協議会委員数

コーディネーター 5名 (0名)

唐沢小学校放課後子ども教室

教室の概要

活動場所	生活科室、体育館、校庭等	登録児童数	19人
参加対象	1年生～6年生	平均参加児童数	15人
連携団体	淑徳大学、地元農家、地域サークル団体、三芳町グラウンドゴルフ連盟 等		
プログラム例	工作、ゲーム、スポーツ、調理実習 等		

特徴的な活動内容

(1) 大学との連携による多世代交流

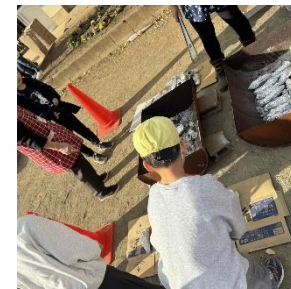
町内にある淑徳大学教育学部と連携し、学校へ実習に来ている学生にスタッフとして参加してもらっている。学生に実践的な学びの場として活用してもらうとともに、地域住民で構成されるスタッフも普段関わりのない地元大学生と一緒に取り組むことで子どもも含め多世代での交流が生まれている。

(2) 地域との連携による様々なプログラム

地元農家から提供されたサツマイモを使用した焼き芋や三芳町グラウンドゴルフ連盟と協働したグラウンドゴルフ体験教室、そのほか読み聞かせサークルや折り紙サークルなど様々な地域団体と連携し、地域の力を生かした様々なプログラムを実施した。

(3) 保護者への活動の周知

参加児童の保護者に放課後子ども教室で子どもたちの様子やその活動を知ってもらうため、保護者見学会を開催した。



焼き芋体験



グラウンドゴルフ体験

活動の成果

三芳町では、今年度から放課後子ども教室事業がスタートし、多くの地域住民の方に参加いただいている。本教室においても、民生委員児童委員を中心に様々な地域住民が参加をしている。これまで学校や地域と疎遠だった方々も本事業・子どもを通じて学校が身近なものとなり、今後より一層地域づくりが進むことが期待される。

基本情報

令和4年度～

運営委員会名

放課後子供教室運営委員会

委員構成

コーディネーター1名、小学校校長1名、学童保育関係者、指導主事1名、PTA会長1名

など 5名

対象学校数	1校
-------	----

登録児童数	30人
-------	-----

平均開催日数	28日
--------	-----

ボランティア数	16人
---------	-----

地域学校協働活動推進員等数
()は内、学校運営協議会委員数

コーディネーター 1名 (1名)

滑川町・放課後子供教室

教室の概要

活動場所	教室・体育館、校庭	登録児童数	30人
参加対象	福田小学校1, 2年生	平均参加児童数	26人
連携団体	—		
プログラム例	地域ボランティアとの交流、かるた、藍染体験他		

特徴的な活動内容

本教室では、こども達が放課後を安心・安全に過ごす居場所を提供するため、遊び・学習・体験・交流等の多様な活動を実施している。

福田小学校を拠点として、小学校内の多目的室を主な活動場所とし、週に一度、火曜日に活動している。月に平均2回の割合で、地域ボランティアとの交流を行い、工作や昔遊び等を通して、こども達と地域の方々とのふれあいを進めている。

はじめての試みとして、今年度ボランティアを講師とした「こどもヨガ」を実施した。

夏休みには、特別開催として、1年生から6年生を対象とした教室を開催した。中学生ボランティアと「ジェルキャンドル」の作成等、他学年や中学生との交流を行った。



ステージの上から紙飛行機



完成したジェルキャンドル

活動の成果

1年生と2年生と一緒に活動することにより、異学年との交流が増え、地域ボランティアとの活動によるコミュニケーションの場が増えた。地域ボランティアからは、児童と活動を共にし、交流することへの喜びややりがいの声をいただくことができた。

基本情報

令和7年度～

運営委員会名

嵐山町教育委員会

委員構成

コーディネーター 1名
 教育活動推進委員 1名
 養育活動サポーター 2名
 生涯学習課職員 5名

9名

対象学校数 3校

登録児童数 64人

平均開催日数 44日

ボランティア数 9人

地域学校協働活動推進員等数
 ()は内、学校運営協議会委員数

コーディネーター 1名 (0名)

嵐山町・放課後子供教室スイミー

教室の概要

活動場所	ふれあい交流センター	登録児童数	64人
参加対象	町内小学校全学年	平均参加児童数	18人
連携団体	町立図書館、大妻嵐山中学校・高等学校、町内中学校		
プログラム例	宿題、ボードゲーム、茶道体験、お正月飾りづくり		

特徴的な活動内容

本教室は、子供たちの安全・安心な居場所づくりと個々の子どもたちの様々な個性を大切にしながら創造性豊かな集団活動を展開し、自分で考え行動できることを目標に活動している。

活動は、平日放課後の宿題や遊びを中心とした通常活動と、休日等を利用した見学や体験を中心とした特別活動を実施している。



特別活動 朝日飲料群馬工場見学

活動の成果

町内小学校全校が一つの教室で活動しており、異なる学校、学年の子供たちや、地域の方々との交流を通じたモノ作りや見学などの体験をおこなう中で、積極性や探求心、コミュニケーションが増えたことなどで保護者からも好評を得ている。

基本情報

平成28年度～

運営委員会名

小川町放課後子供教室運営委員会

委員構成

区長会1名、老人会1名、
校長会2名、PTA1名、
学童クラブ1名、民生委員
児童委員1名、社会教育委
員1名、公民館審議会委員
1名、学識経験者2名、行
政3名、コーディネーター
1名

計15名

対象学校数	5校
登録児童数	185人
平均開催日数	26日
ボランティア数	45人

地域学校協働活動推進員等数
 ()は内、学校運営協議会委員数

地域学校協働活動推進員1名(0名)
コーディネーター5名(0名)

おおかわキッズ

教室の概要

活動場所	専用教室・生活科室	登録児童数	52人
参加対象	小学1年～6年	平均参加児童数	50人
連携団体	小川町生涯学習課、にぎわい創出課、社会福祉協議会、おり紙協会等		
プログラム例	七夕飾り(くす玉・短冊)、天文教室、人権DVD鑑賞、おり紙教室、ハッピー集会		

特徴的な活動内容

(1) 集団での活動

放課後子供教室の魅力の1つに、集団での活動がある。1人ではできない取組、1人では味わえない楽しさを体験させたいと考えている。そこで、はじめの会の中で、全員での歌唱を行っている。「虹」「勇気100%」「つばさをください」等を歌い、気持ちよく教室を始めている。さらに、外遊びの最初の15分間は、全員遊びを行っている。「ドッジボール」「ミニサッカー」「手つなぎおに」等を行い、仲間意識を醸成し、年齢を超えたふれあいの場を設けている。

(2) 魅力ある「特別の活動」

年間8回程度(25回中)「特別の活動」を行っている。A活動は、「ハッピー集会」など、スタッフと児童による創意工夫ある取組、B活動は、「わくわく天文教室」等、講師を招いて行う体験活動、C活動は、「避難訓練」等、必要性により取り組む活動、の3つに分類している。毎年見直しを行い、講師は他教室を1年ごとにローテーションしている。

(3) 学校とのよりよい連携

学校の1教室を専用教室として、もう1教室をシェア教室として使わせていただいている。毎回、開室・閉室の2回、コーディネーターが職員室に挨拶に行く。この際、学校へのお願いや逆におおかわキッズで対応すべきこと等の情報交換を行っている。また、7月と12月の2回、学校の取組である「算数教室」に数名のおおかわキッズスタッフも参加させていただき、児童の学習支援に協力している。

活動の成果

コーディネーターを中心に、12名のスタッフが毎回よく企画運営をし、安全・安心でよりよい放課後の居場所づくりができていていると考える。

保護者からも、「宿題をみてもらって助かる」「みんなで遊べるのを楽しみにしている」「よい体験をさせていただいている」等の声をいただいている。

基本情報

平成18年度～

運営委員会名

川島町地域子ども教室実行委員会

委員構成

川島町教育委員会教育長
各くらぶコーディネーター
各くらぶクラブリーダー
川島町教育委員会社会教育
指導員
川島町教育委員会生涯学習
課長
川島町教育委員会生涯学習
課職員 など 75名

対象学校数 3校

登録児童数 85人

平均開催日数 9日

ボランティア数 76人

地域学校協働活動推進員等数
()は内、学校運営協議会委員数

コーディネーター 4名 (0名)

中山っ子くらぶ

教室の概要

活動場所	旧中山公民館ほか	登録児童数	43人
参加対象	1～6学年	平均参加児童数	38人
連携団体	まちづくり協議会（中山地域部会）、J A女性部ほか		
プログラム例	グラウンドゴルフ、食育講座、施設見学ほか		

特徴的な活動内容

異年齢及び異世代との関わりあいの中で、心豊かに、たくましく、自信をもって生きることのできる子どもを育てることを目的としている。地域で精力的に活動されている方がコーディネーターやクラブリーダーといったスタッフとして活躍しており、多くの地域住民に参加いただくことにより、子どもの安心安全な居場所づくりと、地域の教育力の向上を目指している。また、地域や旧公民館で活動する様々な団体と連携をとりながら活動しており、地域に根差した食材を使用した『食育講座（シュガーラスク、バナナパンケーキ）』や施設見学を行った。また、今年度から新たに始まったまちづくり協議会（中山地域部会）の事業に参加し、異世代との関わりを継続して増やしている。



食育講座

活動の成果

活動ごとにグループを変えるなど、より異年齢が交流できるようにしている。そのため、高学年は低学年の見本となるように、低学年も自分にできることは自分で行うなど、活動ごとに子どもたちの成長が見られる。

基本情報

平成21年度～

運営委員会名

吉見町放課後子ども教室運営委員会

委員構成

教育委員（1名）、社会教育委員（1名）、放課後子ども教室実施校の校長（2名）、放課後子ども教室実施校のPTA会長（2名）、放課後児童クラブ関係者（2名）、社会教育指導員、子育て支援課長、教育総務課長、生涯学習課長

対象学校数 2校

登録児童数 45人

平均開催日数 41日

ボランティア数 14人

地域学校協働活動推進員等数
()は内、学校運営協議会委員数

コーディネーター 1名 (0名)

吉見町・南小放課後子ども教室

教室の概要

活動場所	南公民館	登録児童数	17人
参加対象	全学年	平均参加児童数	11人
連携団体	公民館 社会教育関係団体		
プログラム例	自主学习、自主活動、工作、室内ゲーム 等		

特徴的な活動内容

田園風景が広がり、自然に囲まれた中で、児童に農業への関心をもってもらうため、かかしについて学ぶとともに作製を行っている。二日間に渡り作製に取り組み、個性豊かなかかしを完成させ農家の方に許可を頂いて、収穫前の田にかかしを設置している。全体的に和やかな雰囲気の中で活動が行われ、共に「認め合い、語り合い、学び合う」姿がみられる。

吉見郷土かるたで、吉見の歴史や文化を学ぶとともに、競争心を持たせ、勝った時の喜びや負けた時の悔しさなどを経験させ、感情を持たせることで自己成長につなげている。

毎回、児童自ら宿題や自主学习に取り組んでいる。



かかしの作製



よしみ郷土かるた

活動の成果

学年や通学班の異なる児童との交流、多様な体験ができる放課後子ども教室は、保護者から高い評価を得ている。毎回の自主学习への積極的な取り組みは、家庭学習の習慣づくりを後押しする力になっている。

基本情報

令和5年度～

運営委員会名

鳩山町放課後子ども教室運営委員会

委員構成

- ・学校関係者
- ・社会教育関係者
- ・放課後児童クラブ関係者
- ・PTA関係者
- ・学識経験者
- ・コーディネーター

計13名

対象学校数 3校

登録児童数 87人

平均開催日数 21日

ボランティア数 31人

地域学校協働活動推進員等数
()は内、学校運営協議会委員数

コーディネーター 3名 (0名)

鳩山町・放課後子ども教室（鳩山町立亀井小学校）

教室の概要

活動場所	鳩山町立亀井小学校（松風館・体育館・校庭）	登録児童数	13人
参加対象	全学年	平均参加児童数	12人
連携団体	鳩山サッカー協会		
プログラム例	学校の宿題、伝承遊びや工作、サッカー教室、お絵かき教室など		

特徴的な活動内容

当町では学校の余裕教室などを活用し、放課後の子どもたちに安全で安心な居場所を提供している。また、地域住民の参画を得ながら、子どもたちには学習や遊び、体験活動の機会も提供している。

この事業を通じて、子どもたち自らが学ぶ力を身につけることを目指し、地域で子どもを育てる環境の充実に努めており、子どもたちが健やかに成長できる環境づくりを推進している。

鳩山町立亀井小学校での放課後子ども教室は、令和7年7月に開設され、1日の活動時間は1時間40分である。活動内容は、前半に学習の時間が設けられ、地域住民であるサポーターの補助を受けながら学校の宿題を行っている。後半には、コーディネーターが企画した全体活動の時間が設けられ、全員で楽しめる伝承遊びや工作、スポーツ体験などが実施されている。

特別講師を招いて行ったサッカー教室やお絵かき教室では、地域でクラブ活動を行っている方から専門的な技術や知識を学ぶ貴重な機会となった。



サッカー教室の様子

活動の成果

本年度は鳩山町立亀井小学校において、放課後子ども教室の開設初年度であった。子どもたちは学びや遊びを通じて楽しみながら、異学年の友達や地域の人々との交流を持つ機会を得ている。登録児童からは「放課後子ども教室が楽しい」という声も寄せられており、放課後の子どもたちに居場所を提供できている。

基本情報

平成19年度～

運営委員会名

萩ヶ丘いきいき教室打合せ会

委員構成

小学校長、小学校教頭、
萩ヶ丘いきいき教室指導員
生涯学習課長
生涯学習課担当者
など 7名

対象学校数	1校
登録児童数	37人
平均開催日数	181日
ボランティア数	2人

地域学校協働活動推進員等数
()は内、学校運営協議会委員数

配置なし

萩ヶ丘いきいき教室

教室の概要

活動場所	萩ヶ丘小学校教室、校庭	登録児童数	37人
参加対象	全学年	平均参加児童数	5人
連携団体	—		
プログラム例	宿題のサポート、校内での遊び、校庭での野球		

特徴的な活動内容

給食のある日の放課後における見守りとして、宿題のサポートを始め教室内や校庭での遊び、野球教室を行っている。

夏季においては気温が高い日が続いたため、熱中症対策として熱中症計を用いて気温、湿度を常に確認し、屋外での活動が危険と判断された場合には適宜活動場所を屋内やエアコンの設置された部屋に変更して活動を継続した。



室内での活動



屋外での活動

活動の成果

山間部で長距離を通学する児童を少人数で下校させることなく、高学年と一緒に下校できるよう低学年児童の見守りを行い、児童の下校時の安全確保に努めた。

基本情報

令和3年度～

運営委員会名

放課後子ども教室運営委員会

委員構成

社会教育委員、教頭、放課後児童クラブ支援員・保護者会長、スクールガードリーダー、民生委員・児童員協議会、PTA連合会、住民福祉課長、行政関係者

計12名

対象学校数	1校
登録児童数	57人
平均開催日数	6日
ボランティア数	15人

地域学校協働活動推進員等数
 ()は内、学校運営協議会委員数

コーディネーター 2名 (2名)

放課後子ども教室

教室の概要

活動場所	ランチルーム、体育館、校庭	登録児童数	57人
参加対象	1～6学年	平均参加児童数	20人
連携団体	和紙の子児童クラブ（学童）		
プログラム例	手品、昔遊び、キンボール		

特徴的な活動内容

(1) 体験型プログラムに特化した取組

各回の内容については放課後子ども教室運営委員会で協議・決定し、1回ごとの実施内容を充実させている。「遊び」を中心とした活動ではなく、「学び」や「体験」に重点を置いたプログラムを実施することで、子供たちの自主性や意欲を引き出す取組となっている。

(2) 異学年交流を取り入れた活動構成

本教室では、学年の異なる児童が共に活動するプログラム構成としており、協力しながら取り組む場面を意図的に設けている。年齢や学年の違いを踏まえた関わりの中で、互いに役割を意識しながら活動できるよう工夫している。



手品体験教室

活動の成果

異学年交流を含む活動を通して、児童同士の関わりが深まり、円滑な人間関係づくりにつながっている。また、児童や保護者からは、「普段できない体験ができるや他学年の児童と交流できることが良い」などの声が寄せられており好評を得ている。

基本情報

平成19年度～

運営委員会名

熊谷市放課後子供教室運営委員会

委員構成

PTA連合会、社会福祉協議会、子ども会育成連絡協議会、青少年健全育成市民会議、自治会連合会、青年会議所、校長会、公民館連合会、スポーツ協会、文化連合会、子どもセンターボランティア代表者、社会教育委員会議、社会教育課長、社会教育課指導主事
15名

対象学校数	26校
登録児童数	7076人
平均開催日数	8日
ボランティア数	450人

地域学校協働活動推進員等数
()は内、学校運営協議会委員数

コーディネーター 31名 (6名)

別府ふれあいスクール

教室の概要

活動場所	別府小学校、別府公民館 他	登録児童数	488人
参加対象	全学年（活動によって対象学年が違う）	平均参加児童数	35人
連携団体	別府沼を考える会、サイエンスボランティア、おやじの会、別府小PTA、JAくまがや女性部、元教員、サッカー少年団のコーチ 等		
プログラム例	たけのご掘り体験、ミュージックベル教室、サッカー＆フットサル教室、体操教室、科学教室、茶道教室、手打ちうどん作り教室、餅つき体験、しめ縄とリース作り教室、勉強のおさらい会 等		

特徴的な活動内容

(1) 募集人数の工夫

2020年からウィルス対策や参加児童、ボランティアの健康を考慮し、各教室の定員が40人以下になるように、プログラムの難易度や特性を鑑み、対象学年を精選して募集を行っている。

(2) 多様なプログラムと地域連携

当教室は、文化的な体験や科学的な体験、体育的な体験、また、伝統行事など地域の特色を生かし郷土愛を育むような体験など、多様なプログラムを実施している。「ミュージックベル教室」では、ミュージックベルや歌の練習をして、地域の行事である「別府秋祭り」のイベントに出演したり、「ジャック・オー・ランタンを作ろう」では、地域の方に作っていただいた大きなかぼちゃを使ってランタンを作り、「別府秋祭り」に飾ったりすることで地域と一体化した活動になるよう工夫している。麦王「権田愛三」の地元であるため「手打ちうどん作り教室」では、熊谷産小麦でJAくまがや女性部の方を講師にうどんを作ったり、「餅つき体験教室」では、PTAやおやじの会に協力いただき、子どもたちがついたお餅を鏡餅にして別府小学校に飾ったりしている。1年を通して、季節や郷土を感じられるような教室を開催している。また、子ども達が地域の方とたくさん交流できるよう工夫している。



「手打ちうどん作り教室」

活動の成果

児童も保護者も地域の大人・お年寄りと一緒に活動することで、交流が深まりよい人間関係ができた。また、保護者からは、普段体験できない経験や異学年の児童たちとの交流の中で、人を思いやる気持ちが芽生え優しい子になってきたと好評を得ている。また、本校を去られた先生や卒業生も講師として関わってくれることで、人との縁や愛着、愛校心を育む一助となっている。

基本情報

令和2年度～

運営委員会名

本庄市小学生学習支援事業
運営委員会

委員構成

コーディネーター6名
生涯学習課職員2名

計 8名

対象学校数	12校
登録児童数	102人
平均開催日数	16日
ボランティア数	37人

地域学校協働活動推進員等数
()は内、学校運営協議会委員数

コーディネーター 6名 (1名)

学ぼう舎（本庄西公民館会場）

教室の概要

活動場所	本庄西公民館	登録児童数	17人
参加対象	全学年	平均参加児童数	13人
連携団体	公民館利用団体、地元企業、地域住民		
プログラム例	お琴鑑賞、木工細工、ティッシュケース作り、卓球、そろばん、ジングルベル演奏会		

特徴的な活動内容

(1) 活動拠点は公民館

本教室は、児童に安全な居場所を設け、自主学習、体験学習又は文化活動により児童の自主性及び創造性を育むことを目的に、市内6か所の公民館を会場に原則月2回、土曜日に実施している。地域の方を支援者として、市内の団体や人材と連携しながら、自主学習の支援や、様々な体験活動を展開している。

本庄西公民館会場は市内6つの小学校から17名の児童が参加し、1年生から6年生まで元気に仲良く活動をしている。

(2) 多種多様な体験活動

教育活動推進員(みんなの師匠)が自身の特技を生かした活動(読み聞かせ、英語など)を毎回実施しているほか、地元工務店による木工細工や、公民館利用団体による卓球教室、地元の大学生等によるクリスマスコンサートなど、地域との関わりを大切にしながら、学校ではできない様々な体験活動を実施している。

また、今年度は他会場(児玉公民館)と合同で、市内小学校のグラウンドを貸し切ってサッカー教室を実施し、会場の垣根を超えて大人数で楽しんだ。



木工細工教室



卓球教室

活動の成果

保護者からは、勉強以外にも家や学校ではできない様々な体験ができること、他学年・他学校の児童や地域の方との関わりが持てることなどで好評を得ている。

基本情報

令和元年度～

運営委員会名

平日放課後子ども教室協議会

委員構成

学校長、学校担当（教頭）、地域学校協働活動推進員、平日放課後子ども教室マネージャー（うち地域学校協働活動推進員兼務7名）、放課後児童クラブ職員、生涯学習スポーツ振興課職員
計 42名

対象学校数	8校
登録児童数	128人
平均開催日数	7日
ボランティア数	42人

地域学校協働活動推進員等数
()は内、学校運営協議会委員数

地域学校協働活動推進員 8名（8名）
コーディネーター 1名（0名）

深谷市・榛沢小平日放課後子ども教室

教室の概要

活動場所	体育館	登録児童数	21人
参加対象	1～3年生	平均参加児童数	20人
連携団体	老人クラブ		
プログラム例	マグダーツ、わなげ、めざせ！ホールインワン（グラウンドゴルフ）体験		

特徴的な活動内容

本教室では、体験型プログラムを通じて、児童の安心・安全な居場所を提供するものである。また、学年を超えた児童の交流の場であり、地域の方々との交流を通じて、児童の自主性、社会性のより一層の向上を目指している。

1～3年生までの低学年を対象に、地元老人クラブの協力のもと、マグダーツ、わなげ、めざせ！ホールインワン（グラウンドゴルフ）体験を実施した。

参加児童にとって、プログラムの内容は初めて体験することであったが、老人クラブの方々からマグダーツ、わなげの投げ方やボールの打ち方等指導していただきながら、放課後のひとときを楽しく過ごすことができた。



【わなげ体験の様子】

活動の成果

保護者からは、上級生との関わりもでき、いろんな体験ができてよかった、友達と遊びの中で、新しい体験ができてよかったなど、好評を得た。

本教室では、放課後学童クラブと児童の安全確保について連携を図っており、教室終了後は、学童から参加している児童を安全に学童クラブ職員に引き渡すことができた。

基本情報

平成21年度～

運営委員会名

放課後等子ども教室運営委員会

委員構成

横瀬小学校長、教頭
放課後子ども教室指導員7名
横瀬町教育委員会担当者3名

12名

対象学校数	1校
登録児童数	65人
平均開催日数	220日
ボランティア数	10人

地域学校協働活動推進員等数
()は内、学校運営協議会委員数

コーディネーター 1名(0名)

横瀬町放課後等子ども教室

教室の概要

活動場所	第一校舎(2教室)・体育館・校庭	登録児童数	65人
参加対象	1・2年	平均参加児童数	35人
連携団体	学校応援団・横瀬町社会福祉協議会		
プログラム例	宿題、工作教室、なわ跳び教室、ボール遊び、美文字教室		

特徴的な活動内容

本教室は小学校の空き教室(2教室)を主な活動場所とし、放課後や長期休業中における児童の安全で安心な場所を確保するとともに、様々な体験活動を通して豊かな人間性を育てることを目的としている。今年度は登録児童数が増え、常時7人の指導員を配置して運営している。

【工作教室】

長期休業中の工作教室は定着し、子どもたちに大人気である。作った作品をもとに家庭でも会話が弾み、保護者からも喜びの声が届いている。今年度は、飛行機やクリスマスツリー作りに取り組み、個性的な作品が出来上がり楽しいひとときとなった。



大人気の工作教室

【なわ跳び教室】

冬休みのなわ跳び教室は、音楽に合わせて、楽しくリズムカルに跳ぶことをねらいとし、一人一人の技能がだいぶ向上した。休み時間も進んでなわ跳びにチャレンジする姿が見られた。



音楽に合わせてなわ跳び

活動の成果

- 学校課業日や長期休業日の(年間約230日)の開室は、保護者からたいへん好評であり、地域で子どもたちを育てる体制がしっかりと根付いてきた。
- 放課後子ども教室指導員のきめ細かな指導により、子どもを通じて保護者・学校・地域との連携が深まった。
- 異学年の交流を通し、やさしさや思いやりの心の育成が図れた。

基本情報

平成30年度～

運営委員会名

放課後子供教室運営委員会

委員構成

放課後子供教室代表、児童クラブ代表、小学校長、PTA代表、児童クラブ室担当、健康こども課長、教育長、教育次長、指導主事、事務局（教育総務担当主幹、教育総務担当主事、学校教育指導員）

など 15名

対象学校数	1校
登録児童数	30人
平均開催日数	70日
ボランティア数	4人

地域学校協働活動推進員等数
()は内、学校運営協議会委員数

コーディネーター 5名(0名)

はつらつルーム

教室の概要

活動場所	教室・体育館	登録児童数	30人
参加対象	1～3学年	平均参加児童数	22人
連携団体	町民団体		
プログラム例	宿題、読書、工作、企画行事（軽スポーツ体験）等		

特徴的な活動内容

(1) 町民団体との連携

当教室は、放課後の子供たちの安全な居場所を確保するとともに、多様な学習・体験活動を通して豊かな人間性の育成を目指している。また、町民団体と協力し企画行事を行っている。

(2) 郷土に親しみを持ってもらうプログラム

企画行事として、重きを置いている「ふるさと教育」に沿って地域の赤十字団体に踊りの講師を依頼し秩父音頭を行い、夏休みには1～6年生を対象とした布ぞうりづくり教室を開催した。

(3) 募集

企画行事を実施する際には、対象者をはつらつルームの登録児童だけでなく、学童と連携し学年の異なるより多くの児童が参加し、地域の方との交流や、多様な体験できるよう、あらためて参加者を募集した。



秩父音頭の様子

活動の成果

今年度から、夏休みの布ぞうりづくり教室に講師補助として中学生も参加にすることにより、運営の補助とともに他学年との交流が深まった。通常の活動に加え、身近にある材料を使用して工作に取り組む中で、一人ひとりの豊かな想像力を育む機会が増えた。また、秩父音頭では地域の方との交流も深まり、郷土に親しみを持ち、伝統文化を継承していく大切さを学ぶことができた。

基本情報

平成20年度～

運営委員会名

放課後子供教室運営委員会

委員構成

小学校校長（1名）
 コーディネーター（1名）
 学校担当者（1名）
 教育委員会職員（2名）

計 5名

対象学校数	1校
登録児童数	34人
平均開催日数	31日
ボランティア数	37人

地域学校協働活動推進員等数
 ()は内、学校運営協議会委員数

コーディネーター 1名 (0名)

いきいき教室

教室の概要

活動場所	小鹿野小学校1年教室・体育館	登録児童数	34人
参加対象	第1学年	平均参加児童数	34人
連携団体	小鹿野町民生委員・児童委員 地域ボランティア		
プログラム例	読み聞かせ、学習プリント、工作等		

特徴的な活動内容

年度初めに1年生全員を対象に利用希望を確認し、希望者が利用している。1クラス約20名弱で2クラスとなり、指導者が4, 5名ずつ毎回ついているため、きめ細やかな支援を行っている。

放課後子供教室コーディネーターと地域ボランティアの方が中心となり活動している。役割分担など民生委員・児童委員との連絡調整することで、円滑な活動を行うことができている。

活動内容として、読み聞かせや学習プリントを活用した学習、その他工作等を行っている。定期的に、季節に合わせて行事を行ったり、身近なものを利用して工作したりして、児童は放課後の時間を楽しんでいる。



教わりながら学習



読み聞かせ



楽しい工作の時間

活動の成果

水曜日の第6校時を「いきいき教室」とし、6校時を終えた他学年の児童と同じ時刻に下校とすることで、1年生の安全を確保することができている。児童とボランティアの方々が交流することで、幅広く大人と関わる機会となった。

基本情報

平成20年度～

運営委員会名

上里町放課後子供教室運営委員会

委員構成

実施校校長、公民館代表、PTA、子ども会育成会、スポーツ少年団、ボランティア団体、関係課室長、実施校コーディネーター、学識経験者

計21名

対象学校数 5校

登録児童数 89人

平均開催日数 35日

ボランティア数 41人

地域学校協働活動推進員等数
()は内、学校運営協議会委員数

コーディネーター 5名(2名)

上里東小のびっこ教室

教室の概要

活動場所	上里東小学校	登録児童数	29人
参加対象	1～3学年	平均参加児童数	27人
連携団体	—		
プログラム例	宿題、読書、工作、体育館遊び 等		

特徴的な活動内容

上里町放課後子供教室（上里東小学校のびっこ教室）では、放課後の余裕教室などを学校からお借りして、週2日間、子供達が放課後に学習や体験活動を通して、安全かつ安心して過ごせる居場所づくりを行っている。

教室では最初の30分間を「学習タイム」とし、静かに宿題や読書に取り組む時間を設けている。その後は「のびっこタイム」として、工作や体育館遊びなど、自由に活気のある時間を過ごしている。

運営については地域の方々や退職教員の皆様にボランティアとしてご協力いただいて開催している。時期に応じた季節のイベントや工作等さまざまな事業をボランティアの方々が提案してくださり、通年を通して子供たちは楽しんでいる。



ある日の活動内容



のびっこタイム(七夕)

活動の成果

子供たちにとっては地域の大人や異年齢の子と遊べる機会となっている。また、ボランティアの方々にとっても地域の子供と触れ合える機会となり、双方にとって良い効果が出ている。

基本情報

令和7年度～

運営委員会名

行田市放課後子ども教室
運営委員会

委員構成

各教室コーディネーター12名・小学校長2名・PTA代表1名・社会教育関係者1名・自治会長1名・生涯学習課長1名

計18名

対象学校数	12校
登録児童数	464人
平均開催日数	13日
ボランティア数	135人

地域学校協働活動推進員等数
()は内、学校運営協議会委員数

コーディネーター 12名 (6名)

行田市・下忍小学校わくわくクラブ

教室の概要

活動場所	下忍小学校図書室	登録児童数	25人
参加対象	1～3年生	平均参加児童数	22人
連携団体	下忍学童保育室、下忍小学校学校運営協議会		
プログラム例	交通安全教室、マジック教室、郷土かるた、昔遊び、パドル体操、工作教室		

特徴的な活動内容

下忍小学校わくわくクラブは、令和7年度から開設された教室で、年10回(4、8月を除く)の活動計画を作成し活動している。

玉入れなどのミニ運動会、パドル体操などの運動のほか、工作教室、マジック教室、まゆ玉作り、ぎょうだ郷土かるたなど幅広く活動しており、交通安全教室も実施した。

スタッフは教職員OBや学校運営協議会委員など地域住民で構成され、活動は、学童保育室や学校運営協議会と連携して実施している。



かるた



パドル体操

活動の成果

子どもたちは、授業だけでは体験できないことを学び、さらに地域との絆も深めている。評判を聞いて年度途中から参加する児童が多数いることから、参加児童や保護者の満足度も高いものと考えている。(今年度開設のため、保護者へのアンケートは今後実施する予定)

基本情報

平成20年度～

運営委員会名

春日部市放課後こども教室運営委員会

委員構成

校長会代表、社会教育委員、自治会連合会代表、青少年育成春日部市民会議代表、生涯学習市民推進員、市PTA連合会代表、放課後こども教室代表2名、共栄大学准教授、指導課長、中央公民館長 計11名

対象学校数	23校
登録児童数	1,774人
平均開催日数	6日
ボランティア数	277人

地域学校協働活動推進員等数

()は内、学校運営協議会委員数

コーディネーター 20名 (7名)

牛島小学校放課後こども教室

教室の概要

活動場所	体育館、特別教室	登録児童数	167人
参加対象	1～6学年	平均参加児童数	51人
連携団体	自治会、放課後児童クラブ指定管理者等		
プログラム例	科学教室、スライム教室、レジン教室、うんどう遊び教室		

特徴的な活動内容

(1) 地域の方々との連携

当教室は「うしじまモーモークラブ」の名称で、コーディネーターを中心に地域の方々と放課後児童クラブ指定管理者等で運営している。

地域の方々との連携を図り、多様な体験・交流活動の取組みを実施することにより、地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進している。

(2) 多様な講座の開設

地域の方による「科学教室」「スライム教室」「レジン教室」など通常の学校生活や授業では体験できない講座が行われている。

放課後児童クラブを運営する指定管理者との共催により実施した「うんどう遊び教室」ではボールを使った鬼ごっこやゴール型ゲームなどを実施した。

(3) 児童が参加しやすいように講座を企画

「うしじまモーモークラブ」では低・高学年に分けて、その学年に合った講座を開催する日もあり、児童が参加しやすいよう工夫している。



[レジン教室]

活動の成果

放課後児童クラブを運営する指定管理者との共催等により、放課後児童クラブの参加児童も含めた全ての児童が、放課後等を安全・安心に過ごし、多様な活動や交流活動を通じて人との関わりや学びの機会等に格差が生じないよう連携を図った。

基本情報

平成20年度～

運営委員会名

放課後子ども教室運営委員会

委員構成

実施校区の学校代表者、
放課後児童クラブ関係者、
実施校区住民の代表者、
PTAの代表者、
社会教育関係者、
児童福祉の代表者、
教育長推薦

など 45名

対象学校数 6校

登録児童数 97人

平均開催日数 18日

ボランティア数 28人

地域学校協働活動推進員等数
()は内、学校運営協議会委員数

コーディネーター 6名 (1名)

羽生市立新郷第一小学校放課後子ども教室

教室の概要

活動場所	新郷公民館、校庭	登録児童数	15人
参加対象	小学1～6年生	平均参加児童数	14人
連携団体	—		
プログラム例	学習支援、スポーツ遊び、うちわ作り、紙ねんど工作、リズム体操等		

特徴的な活動内容

☆☆地域との連携&多様なプログラム☆☆

本教室は、地域の方々の協力を得ながら活動している。前半は「学習の時間」として宿題や自主学習を行い、後半は「スポーツ活動」として校庭で遊具を使って思い切り体を動かすことを楽しんでいる。

年に数回ほど「特別活動」を行っている。外部講師に依頼する講座や市の制度を活用した講座など、どの講座も真剣に取り組みながらも楽しむ姿が見られた。

市の出前講座を活用した
「AED体験講習会」



指導員が講師となって行った『紙ねんど工作』で製作した作品は、公民館まつりに展示してもらうことになっており、「放課後子ども教室」を知ってもらう機会につながるだろう。

活動の成果

子どもたちの安心・安全な居場所作りを通して、地域の方々とふれあう機会となった。また、参加者は異学年との交流を楽しみながら、学校とは一味違った時間を過ごすことができた。

基本情報

平成17年度～

運営委員会名

久喜市放課後子ども教室運営委員会

委員構成

社会教育委員1名、市内校長会1名、スポーツ推進委員協議会1名、学童保育運営協議会1名、スポーツ少年団1名、子ども会育成連合会1名、民生委員・主任児童委員協議会1名、レクリエーション協会1名、PTA連合会1名、婦人会連合会1名、青年会議所1名、生涯学習推進者2名、各教室実施委員長21名、生涯学習課長・行政関係者1名 計35名

対象学校数 21校

登録児童数 2,852人

平均開催日数 14日

ボランティア数 1,809人

地域学校協働活動推進員等数
()は内、学校運営協議会委員数

地域学校協働活動推進員23名(13名)

くまっ子ゆうゆうプラザ

教室の概要

活動場所	久喜市立久喜小学校	登録児童数	233人
参加対象	1～6学年	平均参加児童数	233人
連携団体	コミュニティ協議会、ポッチャ協会、JA、編み物サークル、PTA		
プログラム例	学習、編み物、ダンス、ドッジボール、グランドゴルフ、マイルーム、マイホーム、子どもサポーター 他		

特徴的な活動内容

(1) 地域・保護者サポーターの充実

当教室は児童数が多いため、実施委員21名の他に、200人を超える多くの地域・保護者(OG・OBも含む)などのサポーターの皆様の協力を得て、実施している(活動の指導だけでなく、下校等のサポーターも含む)。多くの目で子どもたちを見守り、安心できる放課後の居場所づくりを心掛けている。講座も地域の方が主体的に関わり、地域の方の生涯学習の場ともなっている。

(2) 特色あるプログラム

特別なプログラムではなく、子どもたちの自主性を伸ばしていけるようなプログラムを行っている。マイルーム・マイホームでは、子どもたち自身が話し合って何をするかを決めている。特別に用意されたプログラムではなく、自分で何をするか、どのようにするかを考えている。そのため、「何かをしなくてもいい」「無理に合わせなくてもいい」子ども一人ひとりの居場所がある。また、子どもサポーターは開閉校式等にも携わり、「社会参画」のチャンスともなっている。ここに関わった児童が将来、ゆうゆうのサポーター等になってくれることを期待している。



マイルーム・マイホームの様子

(3) DX化による業務量の削減

DX化により、実施委員の業務の削減に、行政の事務局と協力して取り組んでいる。報告書などの様式などをクラウドで共有することで、提出等の手間を削減したり、必要な会議に参加できない方は、オンラインで参加していただいたりしている。

活動の成果

保護者サポーターの人数が増え、多くの目で、児童の見守りをする事ができている。活動に対し、ご理解をいただき、感謝しているところである。次年度は特にDX化についてはフォームでの集計や出欠席管理、事務局への報告様式のDX、Google classroomを使用した連絡等さらに進め、実施委員の実質的な負担の削減と安全で効率的な運営に行政の事務局とも相談しながら、取り組んでいく予定である。

基本情報

平成21年～

運営委員会名

三郷市放課後子ども教室運営委員会

委員構成

子ども教室の代表者、社会教育関係者、児童福祉関係者、三郷市PTA連合会の代表者、子育て支援団体の代表者、地域住民の代表、学校教育関係者、教育総務課長、こども家庭センター長計12名

対象学校数 18校

登録児童数 73人

平均開催日数 8日

ボランティア数 27人

地域学校協働活動推進員等数
()は内、学校運営協議会委員数

コーディネーター 5名(0名)

戸ヶ崎小学校教室放課後子ども教室「ぽこっと」

教室の概要

活動場所	教室、体育館、校庭	登録児童数	16人
参加対象	1学年～6学年	平均参加児童数	14人
連携団体	音楽グループ、防犯教室グループ、PTA		
プログラム例	演奏鑑賞、防犯教室、工作、ボール遊び、昔遊び		

特徴的な活動内容

戸ヶ崎小学校教室放課後子ども教室「ぽこっと」は、令和6年度に開設し、地域住民の協力のもと、児童が安心・安全に過ごせる体験活動を行うための場を提供している。

毎回30分の宿題タイムの後、体験活動を楽しむプログラムを実施している。三郷市の放課後子ども教室では多くの場合、体験活動の内容として工作や校庭・体育館での遊びを実施している。「ぽこっと」も同様のプログラムがあるが、今年度においては、近隣で活動する音楽グループや防犯教室グループに依頼し、演奏会や防犯講座を行っていただいた。

児童にとって、地域のスタッフや他学年の児童と交流する貴重な機会となっている。



音楽グループによる演奏会



防犯教室

活動の成果

放課後子ども教室スタッフは基本的に固定メンバーであり、活動内容を毎年変更するのは負担が大きい。校庭遊びや体育館遊びだけでも、地域住民や学年の異なる児童との交流が可能ではあるが、「ぽこっと」は音楽や防犯などを専門に活動する団体と連携し、より魅力ある体験活動を提供することができた。

基本情報

平成19年度～

運営委員会名

蓮田市社会教育委員会議

委員構成

学校教育関係者（蓮田市小・中学校長会）、社会教育関係者（蓮田市子ども会育成連絡協議会、ボーイスカウト蓮田第1団、蓮田市スポーツ推進員連絡協議会、人権擁護委員）、家庭教育関係者（民生委員・児童委員協議会）、学識経験者（蓮田市議会議員） 計7名

対象学校数 8校

登録児童数 249人

平均開催日数 12日

ボランティア数 31人

地域学校協働活動推進員等数
()は内、学校運営協議会委員数

コーディネーター 3名（1名）

平野小学校「ひらりんきっず・ひらりんすたでい」

教室の概要

活動場所	教室、校庭、体育館	登録児童数	68人
参加対象	2～6年生	平均参加児童数	61人（きっず） 12人（すたでい）
連携団体	—		
プログラム例	自由遊び、スポーツ、宿題 等		

特徴的な活動内容

(1) 多様なプログラムの展開

本教室は、子供たちの安心・安全な放課後の居場所づくりを目的に、様々な活動を行っている。主に、自由遊びを中心とした「ひらりんきっず」と、学習支援を中心とした「ひらりんすたでい」の2つのプログラムを継続的に実施している。「ひらりんきっず」では、子供たちの主体性を育むため、自分たちで考えて自由に過ごす場とし、「ひらりんすたでい」では、苦手意識が克服できる学習の場づくりに努めている。

(2) 夏休み特別企画の実施

令和7年度は夏休みの特別企画として、「ひらりん消防団」遠足を開催した。午前中は防災かるたを楽しんだ後、防災食の昼食をとり、午後は埼玉県防災学習センターを見学した。当日は地域の消防署・消防団も同行し、さまざまな体験をとおして防災の重要性を学んだ。



防災学習センターでの消火体験

活動の成果

安心・安全な環境で様々な活動ができることから、保護者から好評を得ており、毎年多くの申込みがある。今年度から卒業生がスタッフとして活動に関わり、異年齢交流の場にもなっている。

基本情報

平成29年度～

運営委員会名

吉川市放課後子ども教室事業
運営委員会

委員構成

学童保育室支援員
放課後子ども教室支援員
社会教育委員
三輪野江小学校教頭
行政関係者

計9名

対象学校数	1校
登録児童数	97人
平均開催日数	23日
ボランティア数	8人

地域学校協働活動推進員等数
()は内、学校運営協議会委員数

コーディネーター 1名 (0名)

吉川市放課後子ども教室

教室の概要

活動場所	ふれあいホール、体育館、校庭	登録児童数	97人
参加対象	全学年	平均参加児童数	85人
連携団体	なし		
プログラム例	かけっこ教室、生花体験、ハンドボール教室 など		

特徴的な活動内容

(1) 地域人材を活用したプログラムの実施

当教室では、地域で活動する市民や市民団体を講師として招き、各種プログラムを実施している。「志を持った子どもたちを育てる」という理念のもと、スポーツや工作などの体験型学習を通じて、次世代を担う子どもたちの健全な育成を支援している。また、地域人材を活用することで、参加児童と地域住民との交流を促進し、相互の関係を深めている。

(2) 参加児童と保護者のニーズを踏まえた事業運営

年度末に参加児童および保護者にアンケートを実施している。活動内容についての意見や感想を調査し、運営方針の検討や、参加児童の関心が高いプログラムの選定などに活用している。



折り紙教室の様子

活動の成果

今年度は例年開催している「かけっこ教室」、「ハンドボール教室」等のプログラムに加え、「折り紙教室」、「ハーブ&アロマ手作り体験」の2つのプログラムを新たに開催することで、参加児童に幅広い体験を提供する。新たなプログラムの開拓やニーズを踏まえた事業運営により、毎年のアンケートで参加児童、保護者共に事業に対して高い評価を受けている。

基本情報

令和3年度～

運営委員会名

白岡市放課後子ども教室運営会議
(白岡市社会教育委員会議)

委員構成

小中学校長会、県立白岡高等学校長、日本工業大学、文化団体連合会、スポーツ協会、図書館ボランティア連絡会、ボランティア連絡会、母子愛育会、PTA連絡協議会、子ども会育成連絡協議会、「町ぐるみ白岡」、学識経験者、公募

計 15 名

対象学校数	3校
登録児童数	98人
平均開催日数	13日
ボランティア数	22人

地域学校協働活動推進員等数
()は内、学校運営協議会委員数

コーディネーター 3名 (2名)

菁莪小学校放課後子ども教室

教室の概要

活動場所	多目的室、体育館、特別教室、校庭	登録児童数	47人
参加対象	1～6学年	平均参加児童数	20人
連携団体	社会教育関係団体、		
プログラム例	車いすバスケ、モルック、ドッチビー、工作		

特徴的な活動内容

(1) 多様なプログラムの創出

実際に障害のある方を講師に招き、競技用車いすを使用した車いすバスケ体験、社会教育関係団体を講師に招いたモルック教室、地域の方を講師に招いた牛乳パック工作や放課後子ども教室のスタッフが主体となって行うドッチビー、マーブリングでの名札作り、ペットボトルのキャップを使った工作、ゲーム形式で学べる漢字・数字釣りゲームなど多様なプログラムを実施した。

(2) 放課後児童クラブとの連携

放課後子ども教室参加児童のうち、放課後児童クラブ参加児童については、今年度から放課後子ども教室で受付を実施し、スタッフが放課後児童クラブの職員に参加状況を報告するようにして児童の混乱がないように工夫を行った。



車いすバスケ

活動の成果

車いすバスケなどの体験を通じて、社会や福祉に児童が興味をもつようになった。保護者からは、友達だけでなく地域の方やボランティアの方など幅広い方と接することよい機会となった。先でボランティアの方にはべったりお会いした時に、進んで挨拶をしたり声を掛けさせていただいたり、多くの方に見守っていただけることを実感したなどの意見をいただき、地域と学校、家庭のつながりの一助となった。

基本情報

平成20年度～

運営委員会名

杉戸町放課後子供総合
プラン運営委員会

委員構成

- ・学校関係者(学校長) 3名
- ・放課後子供教室代表 6名
- ・放課後児童クラブ関係者 1名
- ・地域住民 1名
- ・PTA関係者 1名
- ・行政関係者 2名

計14名

対象学校数	1校
登録児童数	30人
平均開催日数	16日
ボランティア数	1人

地域学校協働活動推進員等数
()は内、学校運営協議会委員数

コーディネーター 2名 (1名)

杉戸第二小学校わくわく教室

教室の概要

活動場所	校内わくわく教室	登録児童数	30人
参加対象	1～3年生	平均参加児童数	29人
連携団体	-		
プログラム例	バスボム作成、ハロウィン飾り、クリスマス会、スライム作りなど		

特徴的な活動内容

- ・本教室は「わくわく教室」の愛称のもと、児童の放課後の居場所づくりとして実施している。
- ・学校施設(空き教室)を活用した安心・安全な活動拠点を確保し、地域住民との交流や多様な体験活動を通じ、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを目指している。
- ・今年度は1～3年生を対象者とし、合計30名で実施。
- ・参加児童が他学年の子に聞きながら一緒に作品作りを進めたり、出来上がった作品を見せ合ったりするなど、異学年交流を通じた自発的な学び合いの姿が多く見られる。

【実施中の様子】



▲トートバッグ作り



▲折り紙工作



▲ハロウィンパーティー



▲しおり作り

活動の成果

当初緊張気味であった参加児童も、学年混合のグループワークを多く設けたところ、次第に打ち解け、個人での作業の時間でも、学年やクラスの垣根を越えて、積極的にコミュニケーションを図る姿が見られるようになった。また、参加児童からは「1年を通して、色々なことを経験できて楽しかった」との声が寄せられ、兄弟姉妹での参加も見られるなど、家庭や地域における満足度の高い居場所となっている。

基本情報

平成29年度～

運営委員会名

放課後子ども教室運営委員会

委員構成

金杉小学校関係者(校長、学校応援団代表、PTA会長)社会福祉協議会関係者(学童クラブ)、放課後子ども教室関係者(コーディネーター、教育活動指導員) 計7名

対象学校数 1校

登録児童数 30人

平均開催日数 51日

ボランティア数 12人

地域学校協働活動推進員等数
()は内、学校運営協議会委員数

コーディネーター 3名 (3名)

金杉小学校 放課後子ども教室

教室の概要

活動場所	松伏町立金杉小学校 教室、体育館	登録児童数	30人
参加対象	1～6学年	平均参加児童数	21人
連携団体	松伏町中央公民館、松伏町女性消防団、埼玉土建吉川松伏支部、学童クラブ		
プログラム例	学習の時間、運動の時間、プログラミング教室、防災教室、木工教室、野菜の栽培		

特徴的な活動内容



防災教室の取組み

今年度は、原則毎週月、木曜日に定期的に学習と運動を中心とした教室を51回実施した。そのひとつとして11月中旬に松伏町女性消防団の協力の下、防災教室を実施した。体験活動としては、①火災予防をテーマにした紙芝居の上映、②本物の消防服の着衣体験、③AEDを使った胸骨圧迫の体験の3点。特に③については技能の習得ではなくAEDにふれることだけをねらいとした。わずか1時間ほどの時間であったが、子どもたちは4つのグループに分かれ、AEDを囲み乗り出すようにして指導者(消防団員)の話に耳を傾け、一人一人が体験をしていた。事後、子どもたちに感想文・感想画をかかせたが、各学年・各自に応じたとらえ方をしていた。

活動の成果

上記のほかに、プログラミング教室、木工教室を実施した。子どもの実態に合わせ、いずれも地域の方々の協力のもと、有意義な体験活動となった。また、放課後子ども教室へのご理解をいただくよい機会ともなった。次年度もよりよい体験を準備したい。